

## 松山磨理さんと私

### 親切な人

F グループ、モハマド アフナン ハジク

#### 1. 松山磨理さんの印象

同じ F グループの松山磨理さんの印象を話します。一回目の授業には松山さんが出席していませんでしたので、彼女のことをあまり知りません。初めて彼女と会ったのは二回目の授業です。初めて彼女を見ると、彼女はおとなしい、あまりしゃべらない人だと思いました。私もおとなしい人だと思うので、仲良くなれるかもしれません。「おとなしい」は悪い意味もありますが、松山さんの場合はプラスイメージです。余計な話をせず、必要なことしかしゃべらないということは私が思ったプラスイメージの「おとなしい」です。

さらに、松山さんはよく本を読む人だと思います。本をよく読む人は広い知識を持っているのは当然だと思います。ですから、松山さんと話すとき、自分は少し劣等感を持っています。私はあまり本を読まないから、自分の知識に自信がありません。

次に、松山さんはまじめな人という印象が頭の中にあります。散歩の計画を立てるときやグループの名前を決めるときなど、自分グループの中であまり役に立たない私とは逆に、松山さんはいつもまじめにやっていると感じました。このようなまじめな人が自分と同じグループなので安心しました。

#### 2. 特に聞きたいテーマ：音楽と映画

松山さんは音楽と映画が好きだそうです。最初は松山さんがおとなしい人だという印象がありますが、音楽や映画の話になると、松山さんは楽しそうに話しました。私は映画を見るのがあまりありませんが、音楽だったら、よく聞きます。そして、これは自分と松山さんの共通点なので、松山さんの興味を持っていることをテーマにしようと思いました。

松山さんは好きな映画のジャンルはファンタジーとコメディです。時々、泣ける映画もみます。松山さんがいつも見ている映画は日本製の映画に限りません。英語の映画も結構みるそうです。一番面白かったのは何かと聞いたら、「**Night at the Museum**」と答えました。

私と同じように松山さんは音楽が好きです。どちらかというと、松山さんは激しい音楽のほうが好きそうですが、メロディーよりも歌詞のほうが興味を持っています。くだらなくてあまり意味がない歌詞が好きではないそうです。私は英語の曲のほうをよく聞いているが、私と逆に、松山さんは日本語の歌しか聞かないようです。

### 3. 話し合いの結果

#### 3. 1 6月13日の話し合い

話し合いがうまくいけるかどうかを心配してたので、いくつかの質問を用意しておいて、授業に出ました。まずは映画の話でした。松山さんは今秋田で一人暮らしをしているので、ほとんどのときは家の近くにある「ツタヤ」というレンタルビデオ店からDVDを借りて、家でその映画をみます。しかし、秋田大学に来るまえに、松山さんはよく家族と一緒に映画館へ映画をみに行きました。私は家族と一緒に映画館で映画をみるチャンスがあまりなかったもので、きっと楽しいだろうと思って、そのとき、自分の寂しさを少し感じました。松山さんはファンタジーの映画が好きなので、松山さんにとって一番おもしろかった映画は

「Harry Potter」です。「Harry Potter」は全部で7巻があって、松山さんは全部見たらしいです。それだけではなく、本も全て読んだそうです。それは凄いと思います。なぜなら、私は本を読んだら、いつも中途半端でやめてしまうからです。それ以外に、松山さんはアニメも結構みます。スタジオジブリの「風の谷のナウシカ」やディズニーのアニメや最近盛んになっている「ワンピース」などは松山さんがみたアニメの例です。映画と比べると、松山さんはアニメをあまり見ないということがわかりました。

映画の話はあまり膨らまないような気がして、音楽の話に変えました。松山さんはほとんど日本語の音楽聞いています。どうして英語のほうはあまり聞かないかと聞きました。英語は難しいので歌詞がわからずに音楽が耳にすると面白くないからです。確かに、自分もそうです。もし、中国語の音楽やアラビア語の音楽などをきいても、自分もその音楽に対してあまり気に入らないのです。松山さんは激しい音楽のほうが好きだと言ったので自分と同じように、ロックの音楽が好きだと思いました。でも、松山さんが好きなのはJ-POPみたいな音楽です。松山さんが好きなバンドと歌手はポルノグラフィティと槇原敬之だそうです。ポルノグラフィティが好きになった理由のひとつはこのバンドの歌手の特徴的な声だからです。たとえば、「Love Too Death Too」です。その特徴的な声はどのような声か思って、ぜひ聞いてみたくまりました。さらに、松山さんはポルノグラフィティの「カゲボウシ」に聞いたたびに少しホームシックになるそうです。

私も古い音楽を聞いたら、同じようにホームシックなってしまいます。私はメロディーより歌詞のほうに興味があります。深い意味をくだらない言葉で表す歌詞がすきで、松山さんも同じかと聞いてみたら、同じでした。松山さんが好きな歌詞を一部だけ書いてくれるかと頼んでいたら、松山さんは槇原敬之の「Circle Rainbow」の歌詞を書いてくれました。

「テレビで見た丸い虹を見たいと思ったけど、  
となりの犬を見てしばらくは無理だと気づいた、  
そろそろ散歩に出かけよう、  
歩道にさしこむ朝日がまぶしくてくしゃみをした犬の鼻先に、  
小さな丸い虹がかかったんだ。」

わざわざ遠くまで幸せやいいことなどを探さなくても、近くにもあることに気づくという意味があると松山さんがやさしく説明してくれました。

### 3. 2 6月27日の話し合い

私は松山さんと教室の一番の奥に座りました。今回の授業はインタビューするつもりがありませんでした。ただ、カジュアルな話しかしていませんでした。その結果、松山さんのことを、趣味以外に少しわかるような気がしました。松山さんは埼玉の出身で、今年の夏休みは埼玉に帰るようです。夏休みに松山さんの家族がみんな集まるからです。後は、いろいろなことについて話して、つい映画の話になりました。松山さんが好きな俳優は堺雅人と香川照之と広末涼子だそうです。堺雅人と香川照之と広末涼子は演技がすごく上手なことは松山さんがこの俳優が好きになった理由だそうです。私は堺雅人と香川照之と広末涼子のことをぜんぜん知りませんが、松山さんと話したら、少し気になりました。

### 4. まとめ

松山さんは私と同じように初めて知らない人と話すときあまり話しませんが、もっと知るとすごくやさしい人だと思います。松山さんは自分の家族を大切するだそうです。なぜならば、松山さんと話すとき、ずっと家族の話が出てきたからです。私のような留学生にとって、それはすばらしいことだと思います。私は自分の家族と遠く離れて、一緒に過ごす時間もあまりありません。だから、私がどんな忙しくても家族のことをちゃんと大切にします。ちゃんと両親に電話をしたち、手紙を書いたりします。松山さんは音楽と映画が好きだそうです。私は音楽が好きですが、勉強するとき、音楽を聞きながら集中できません。でも、松山さんは集中するために音楽が必要だそうです。気分と気持ちによって聞く音楽も違うようです。自分もそうです。悲しいときやさびしいときなど、音楽を聞くと少し元気が出ます。映画もそうです。たとえば、「Blink 182」というバンドの音楽を聞くと元気が出ます。落ち込んでいるときは「127 Hours」といった意欲的な映画をみたら、自分のモチベーションも回復されるような気がします。

### 5. 授業を終える

#### 5. 1 文化、コミュニケーションとは何か

文化は人の考え方や価値観などによるいろいろ行動するというものだと私は思います。文化は人によって違うと思います。たとえば、私が音楽が好きだから、毎日音楽を聞きます。ほかの人はたぶん音楽があまり好きじゃないので、あまり音楽を聞きません。それは文化だと考えています。コミュニケーションは人の価値観や考え方などを知るための必要な技術（スキル）だと思います。たとえば、相手の表情や話し方や文化などから読み取って、相手を理解することです。それはコミュニケーションだと私が信じます。

#### 5. 2 授業について

初めてこの授業を受けるときに、インタビューをしたりレポートを書いたりしなければならぬので難しいと思いました。だが、実際にしてみたら、それほど難しいことはありません。一番面白かったのは、グループと一緒に散歩するときです。なぜならば、コミュニケーションは理論的なものではなく、自分自身で体験しなければならないということだと思います。私にとって、この授業に関してあまり問題ありません。